

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	07	01	02	174040	商店街賑わいづくり事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-3	商業の振興			
	施策	2	商店街の再生			
目的	商店街の賑わいづくり支援					
対象	商業者、商店街団体等					
意図	商店街等のイベント支援や未利用店舗活用への支援により商店街の賑わい創出を図る					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○各種団体補助金・負担金 35,398千円 花巻商工会議所補助金 32,500千円 まちの駅連絡協議会会費 60千円 岩手県中小企業団体中央会補助金 2,838千円 ○商店街活性化イベント事業補助金 4,349千円 商店街団体が実施するイベントへの補助 ○まちなか創業支援事業 2,545千円 新規創業にかかる改装費・広告宣伝費を補助 ○日本ワインフェスティバル花巻大迫の開催 14,325千円						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	商店街活性化イベント実施件数	件	計画	14	13	
			実績	14	13	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	商店街活性化イベント来街者数	人	目標	80,000	90,000	
			実績	86,856	93,870	
②	まちなか創業支援補助金利用件数	件	目標	5	5	
			実績	1	5	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
商店街活性化イベントの実施主体となる商店街団体は組合員の高齢化や後継者不足といった状況にあるものの、地域に根付いた既存イベントの継続開催の支援、日本ワインフェスティバル花巻大迫の実施によりイベント来街者は増加となった。また、中心市街地での空き店舗を利用した新規出店の相談が増加しており、商工会議所との連携により創業支援を行った結果、実績増につながっている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	郊外大型店出店により市全体の買い物利便性が向上する反面、既存商店街の競争力、商業機能は低下しており、個店の商業力の強化や、中心商店街の賑わいづくりが喫緊の課題である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	商店街の組織力、未利用店舗オーナーの意識改革、事業承継、経営力向上などにより、事業効果の向上余地はあると考えられる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	商業団体・新規出店者等への補助金は、現行以上に削減するのはインセンティブとして弱過ぎるため削減余地なし。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	中心市街地を対象とした以外には、受益機会は公平であり、商業者や団体等の自己負担も一定程度必要であり、適正である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
商店街等が自ら行うイベントに対する支援をはじめ、まちなかで創業する事業者への支援や商業団体等に対する事業補助を行うことにより、商店街の賑わいを創出するとともに、商店街団体の活動支援につながった。		

## 平成30年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	02	174040	商店街賑わいづくり事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		41,213	56,617		15,404
財 源 内 訳	国・県				
	地方債	500	13,800		13,300
	その他				
	一般財源	40,713	42,817		2,104

※特定財源の内訳

過疎対策事業債 13,800千円（大迫地域振興：ワインフェスティバル）

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	----------------------------	-----------------

部重点施策における目標

中心市街地の再活性化

事業開始の背景・経緯

中心市街地の商店街疲弊に歯止めをかけるため、商店街団体が実施するイベントや商工会議所、中小企業団体中央会の経営指導事業等を支援するとともに、新たに創業する事業者への支援を行うことにより、中心市街地の賑わいを創出していく。

事業概要

- 各種団体補助金・負担金 35,398千円
  - 花巻商工会議所補助金 32,500千円
  - まちの駅連絡協議会会費 60千円
  - 岩手県中小企業団体中央会補助金 2,838千円
- 商店街活性化イベント事業補助金 4,349千円
  - 商店街団体が実施するイベントへの補助
- まちなか創業支援事業 2,545千円
  - 新規創業にかかる改装費・広告宣伝費を補助
- 日本ワインフェスティバル花巻大迫の開催 14,325千円

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 鎌田博之 内線 389

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

### ①各種団体補助金・負担金 35,398千円（前年度比 △318千円）

(1)花巻商工会議所補助金 32,500千円（前年度比±0）  
市内中小企業者の経営指導や部会活動費、調査広報費、イベント費用などを支援。

(2)まちの駅連絡協議会会費 60千円（前年度比±0）  
まちの駅いしどりや酒造交流館がまちの駅として認定され、協議会に加入している。同協議会は、まちの駅に取り組んでいる市町村・団体のネットワークであり、まちの駅情報の共同発信、イベント・シンポジウム、特産品紹介・斡旋、研修事業などを実施。

(3)岩手県中小企業団体中央会補助金 2,838千円（前年度比△318千円）  
中小企業の組織強化、経営向上のための経営指導などを行う。  
組合数：39組合（特別・重点支援等組合数 39組合等）、事業所数：4,540事業所

### ②商店街活性化イベント補助金 4,349千円（前年度比△101千円）

地域のコミュニケーションを推進し、にぎわいと潤いのある活性化したまちづくりを進めるため、商店街振興組合等が行うイベント事業の経費に対するの補助。

【概要】

補助率：対象経費の1/2

上限額：500千円（2イベント以上の場合は上限1,000千円、1実行委員会あたりのイベント数に限らず上限1,000千円）

事業主体：商店街振興組合、任意商店街、実行委員会等

### ③まちなか創業支援事業 2,545千円（前年度比+2,006千円）

(1)まちなか創業 2,480千円（前年度比+1,980千円）

【概要】中心市街地エリアの未利用店舗を賃借して新規創業する事業者に対し、改装等の経費の一部補助。

【内容】補助対象：改装費、広告宣伝費

・補助上限額：500千円（対象経費：上限1,000千円の1/2）

※30fy当初3件分→9月補正+2件分（計5件分）

(2)創業後の経営指導 65千円（前年度比+26千円）

【概要】まちなか創業の補助事業者に対し、営業開始後1年以内に中小企業診断士による経営指導を行う。

【内容】

・謝礼金 H29-30採択者経営指導 13,000円×5人×1回=65千円

## 平成 30 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	02	174040	商店街賑わいづくり事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

### ④日本ワインフェスティバル花巻大迫開催 14,325千円（前年度比+13,817千円）

日本ワインが注目れさ始めている今日において、日本ワインの普及と需要の拡大を図るとともに、大迫町に定着したワイン文化を発信し、岩手のワイン発祥の地、大迫の魅力ある商店街の賑わいづくりの創出を目指すため、日本ワインフェスティバル花巻大迫を開催した

主催：日本ワインフェスティバル花巻大迫実行委員会

- ・開催日時：平成30年5月26日（土） 午後1時から午後5時  
平成30年5月27日（日） 午前10時から午後4時
- ・場 所：大迫交流活性化センター周辺
- ・内 容：北海道、東北、関東、甲信越地方の38ワイナリーの有料試飲
- ・来場者数：5,000人（26日2,000人、27日3,000人）

○実行委員会負担金 13,800千円

○臨時補助員賃金 525千円

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	07	01	02	174050	商店街利便性向上事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-3	商業の振興			
	施策	2	商店街の再生			
目的	商店街の来街者の利便性及び安全性の向上					
対象	来街者、商店街団体等					
意図	便利施設を開設するとともに商店街共同施設の補修等の支援を行い、多くの人に商店街を利用してもらう 事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
	○市民ふれあい広場運営 1,885千円 中心市街地（一日市、大迫、石鳥谷、東和）での買い物客が休憩等に利用する便利施設の運営 ○商店街共同施設補修事業 120千円 事業組合又は任意商店街が設置した共同施設の補修経費への補助 ○公共駐車場確保対策 1,782千円 大迫地区内の中心商店街来街者用駐車場を確保					
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態	共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定	
	後援・協賛		補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	市民ふれあい広場設置数	箇所	計画	3	4	
			実績	3	4	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	市街地における一日あたりの歩行者数【商工会議所】	人	目標	6,000	6,500	
			実績	6,249	5,845	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○ 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載） 市街地における歩行者数が昨年度から減少した要因としては、昨年度はマルカンデパート復活後の影響があり、より多くの歩行者があったもの。 現在は、復活後の影響も落ち着き例年並みに戻ったと考えられるが、商店街機能を維持し、商店街活性化イベント等の支援を行うことにより、一定の市街地通行量を確保することができた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	公共駐車場確保対策は未利用市有地の活用などを検討しなければならない。 多くの商店街で施設の老朽化が進んでおり、来街者の安全・安心確保の観点からも公共関与は必要と考える。
	<input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	商店街の利便性や安全・安心なまちづくりなど、商店街の取り組み如何でまだまだ向上余地はあると思われるが、商店街自体の資金や人的な面で体力不足に陥っている現状の克服も必要と思われる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	便利施設の運営の費用負担は最小限である。
	事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	受益機会は公平。 商店街共同施設改修事業は自己負担を要する。
	受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括 商店街の利便性、来街者の安全・安心面への配慮を考えると、公共施設はもとより、商店街が設置した共同施設等の適正配置や安全性確保は必要不可欠であり、今後もより効果的な運営、対策の検討は必要である。		

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	02	174050	商店街利便性向上事業

単位：千円

	29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	3,433	3,787		354
財 源 内 訳	国・県			
	地方債			
	その他			
	一般財源	3,433	3,787	354

※特定財源の内訳

--

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標  
中心市街地の活性化

事業開始の背景・経緯  
中心市街地の商店街疲弊に歯止めをかけるため、商店街における駐車場の運営や、商店街が実施する共同施設の改修を補助し、利便性向上を図る。  
※石鳥谷地域の市民ふれあい広場は、30年度から予算化。

事業概要  
○市民ふれあい広場運営 1,885千円  
中心市街地（一日市、大迫、石鳥谷、東和）での買い物客が休憩等に利用する便利施設の運営  
○商店街共同施設補修事業 120千円  
事業組合又は任意商店街が設置した共同施設の補修経費への補助  
○公共駐車場確保対策 1,782千円  
大迫地区内の中心商店街来街者用駐車場を確保

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 鎌田博之 内線 389 (単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

商店街利便性向上事業 3,787千円 (H29 3,433千円 前年度比+354千円)

①市民ふれあい広場運営事業 1,885千円 (前年度比+325千円)

- 商店街の便利施設として運営。
- ・一日市商店街（一日市商店街振興組合） 765千円（前年度比△9千円）
  - ・大迫町商店街（大迫あねっこの会） 180千円（前年度比△99千円）
  - ・石鳥谷中央通り商店街（石鳥谷中央通り商店街振興会）438千円（前年度比 皆増）
  - ・東和町商店街（東和町土澤商店街商店会連絡会） 502千円（前年度比△5千円）

②商店街共同施設補修事業補助金 120千円 (前年度比 皆増)

- 商店街の共同施設の補修経費に対して補助  
補助率等：補修経費の1/2（上限なし）  
対象施設：駐車場、園地、緑地、公衆便所、広告灯、街路灯、アーチ、アーケード  
30年度交付先：花巻温泉商店会（LEDランプ取替）

③公共駐車場確保対策事業 1,782千円 (前年度比△91千円)

大迫地区内の中心商店街来街者用の駐車場を確保する。

- ・需用費 100千円（融雪剤、修繕料）
- ・委託料 170千円（除雪）
- ・土地借上料 1,512千円

	箇所名	契約者氏名	区画数 a	1区画の 月額単価b	賃借料 a*b*12月
1	仲町	小川 富士	20	3,000	720,000
2	上町	黒沼 啓三	20	2,000	480,000
3	川原町	宗教法人到岸寺	13	2,000	312,000
			53		1,512,000

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	07	01	02	174060	商店街景観形成事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-3 商業の振興				
	施策	2 商店街の再生				
目的	地域の特色や歴史、先人を活かした商店街づくりと街なか誘導を支援する					
対象	商業者、商店街団体等					
意図	魅力ある商店街を形成され、商店街の来街者が増え、賑わいの創出を図る					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○中心商店街顔づくり交付金 6,000千円 大迫、石鳥谷、東和それぞれの中心商店街の顔づくりに取り組む商店街等への支援。 <b>【大迫地域】</b> テーマ：「宿場ロマンのまち おおはさま」 <b>【石鳥谷地域】</b> テーマ：「南部杜氏の里に全員集合！」 <b>【東和地域】</b> テーマ：「アートのまち365」 ○賢治の広場運営事業 6,391千円 中心市街地における市民交流の場である賢治の広場の運営 ・花巻の歴史関連情報の提供、案内業務 ・施設の管理及び清掃						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	顔づくり交付金交付団体数	団体	計画	3	3	
			実績	3	3	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	市街地における一日あたりの歩行者数【商工会議所】	人	目標	6,000	6,500	
			実績	6,249	5,845	
②	賢治の広場入館者数	人	目標	15,000	15,000	
			実績	15,736	15,377	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
商店街の顔づくり推進事業としてのイベントは地元に着定してきており、その支援を行うことで、一定量の市街地通行量を確保することができた。賢治の広場については、30年度から「花巻まつり」での授乳やおむつ替えスペースとして場所を提供するなど利便性の向上に取り組んでいる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	商店街地元住民の意思が最重要であり地元主体で実施することが基本であるが、顔となるべき中心商店街の活性化、景観・都市機能の保持など行政の役割も大きく、住民と行政双方が協調し進めるべき事業
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	「顔」の意味・方向性について、地元商店街等と行政が完全に同じ方向を向いているとは言い難い。なお継続的な議論を要する。賢治の広場は、企画展示内容や歴史・先人情報発信、おもてなしを継続して行うことで向上を目指す。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	現状では交付金縮小がそのままイベント縮小（廃止）に繋がる。将来にわたり残していくべき「顔」と、顔づくりイベントのあり方を合わせて議論する必要がある。賢治の広場は開館時間を短縮し、行政負担は最小限である。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	政策意図として地域を限定した交付金である。賢治の広場は誰でも利用することができ、公平である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
中心商店街顔づくり交付金は、第1期（H21～H25）、第2期（H26～H28）により市内4地域が掲げたテーマに基づいた地域住民と一体となった事業が展開され、市内外からの中心商店街への来場者も増加し、地域の特色や歴史、先人を活かした商店街づくりと街なか誘導に寄与した。平成29年度からは、花巻地域を除く3地域に交付金を交付し、各地域で継続してイベント等を実施している。		
賢治の広場については、賢治を含めた花巻の歴史関連情報を提供するとともに、商店街の来街者のお休み処として機能、定着している。		

平成30年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	02	174060	商店街景観形成事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		12,356	12,391		35
財 源 内 訳	国・県				
	地方債	4,000	4,000		
	その他				
	一般財源	8,356	8,391		35

※特定財源の内訳  
 過疎対策事業債 4,000千円（大迫・東和地域 顔づくり交付金）

事業期間  単年度繰返  期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部重点施策における目標  
 中心市街地の再活性化

事業開始の背景・経緯  
 中心商店街の賑わいづくりに加え、自主的なまちづくりを促進するために地域住民や関係団体が取り組む事業に対して支援を行う。顔づくり交付金は、平成21年度～5年間、平成26年度～3年間の計画を認定し交付。平成29年度からは単年度実施。

事業概要  
 中心商店街顔づくり交付金 6,000千円  
 大迫、石鳥谷、東和それぞれの中心商店街の顔づくりに取り組む商店街等への支援。  
 【大迫地域】 テーマ：「宿場ロマンのまち おおはさま」  
 【石鳥谷地域】 テーマ：「南部杜氏の里に全員集合！」  
 【東和地域】 テーマ：「アートのまち365」

賢治の広場運営事業 6,391千円  
 中心市街地における市民交流の場である賢治の広場の運営  
 ・花巻の歴史関連情報の提供、案内業務  
 ・施設の管理及び清掃

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）  
 顔づくり交付金について、大迫、石鳥谷、東和の3地域から継続の要望がある。

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 鎌田博之 内線 389

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

商店街景観形成事業 H30 12,391千円 (H29 12,356千円 前年度比+35千円)

①中心商店街顔づくり交付金 6,000千円【前年度比±0千円】

- 【大迫地域】宿場浪漫のまち おおはさま 2,000千円
- 実施主体 大迫地域中心市街地顔づくり委員会
  - 目指す姿 宿場浪漫のまちをテーマとし、来訪者に昔の宿場町の面影を感じてもらえるような和風レトロのまち並みや歴史あるさまざまなイベント等を活用し、来訪者と商店街が一体となった明るい商店街を目指す。
  - 内 容
    - (1) 歴史ある町並み保存活用
    - (2) まつりと賑わいづくり
    - (3) おもてなしの商店街づくり
    - (4) 商店街の整備
    - (5) 空き店舗の活用

【石鳥谷地域】南部杜氏の里 2,000千円

- 実施主体 石鳥谷中央通り商店街振興会
- 目指す姿 酒蔵交流館を拠点として、住民に酒蔵の雰囲気や体験できるようにすることで南部杜氏の里であることを身近なものとする。地域の伝統を継承する一方、市内高校生の意見を取り入れ、新しい取り組みも行うことで老若男女を問わず楽しめる賑わいのあるまちを目指す。
- 内 容
  - ① 酒蔵まつり、酒蔵映画祭の実施
  - ② 青雲チャレンジ（花北青雲高校チャレンジショップ）の実施
  - ③ イルミネーション装飾事業の実施

【東和地域】アートのまち365 2,000千円

- 実施主体 土沢商店街商店会連絡会
- 目指す姿 イベント期間中だけでなく、年間を通じてアートを感じる商店街を目指す。
- 内 容
  - (1) まちテクギャラリーつちざわ
  - (2) アートのまち情報発信
  - (3) アートのまちお土産開発普及
  - (4) アートのまち夕涼み事業
  - (5) 標識等整備

②賢治の広場運営事業 6,391千円【前年度比+35千円】

- 場所：花巻市上町 岩田ビル1階
- 《11. 需用費》 796千円（前年度比△14千円）
  - 《12. 役員費》 21千円（前年度比△10千円）
  - 《13. 委託費》 3,494千円（前年度比△5千円）
  - 《14. 賃借料》 2,012千円（前年度比△4千円）
  - 《18. 備品購入費》 68千円（前年度比 皆増）